

しゅうねんきねんび NKKSの37周年記念日



8月15日にNKKSは37周年創立記念日を祝った。コロナウイルスのパンデミックが続いているせいで祝賀行事はオンラインで開催された。約65人が参加して祝賀行事は大成功だった。NKKSの会長の短いスピーチでプログラムが始まった。次は愛国的な歌を美しく歌ったコウシツさんのパフォーマンスだった。その後アラトリカさんが歌った日本の美しい曲で皆がレフレッシュした。次はソハムさんが準備した紙芝居と呼ばれる絵を使った「かぐやひめ」の美しい物語に聴衆は魅了された。その後ショポンさんが「島人ぬ宝」と言う美しい日本の歌を歌いながら彼自身のインドのバージョンを入れてハーモニウムを演奏した。スイリティマンさんが作成したオリジナルのボイススキットの「日本人の三人娘」と言うシリーズのパート2が上演された。このシリーズはメンバーが作ったオリジナルのボイススキットでパート1は以前の印日文化祭で上演された。ザジャパンカレーが準備した写真集でNKKSの設立と組織の様々なイベントを見て皆が懐かしさでいっぱいになった。長い間NKKSにいるシニアメンバーが参加して、昔の思い出話と色々な情報を提供した。次はバンドの「夢」が素敵な日本の歌を演奏した。仮想ケーキカットセレモニーでニガム先生とご主人がケーキを切った。ディプロさんが最後にNKKSの歌を歌い、NKKSの副会長であるアンジャンナさんがお礼を言って行事が終わった。NKKSの誕生日パーティーは皆が十分楽しんだ素敵なプログラムだった。

- ショヒニ チャクラボリティ | 和訳：シュレヤ・ボース



クロスワードと綴り替えの先着正解者

デビさん、おめでとうございます！

たな ぼたもち
棚から牡丹餅

インタビュー

皆さん、はじめまして。コルカタ市に2012年の1月より在住しております清水礼子と申します。今回ニガム和子先生から『SAKURA』のインタビューに答えてくれませんかとお誘いがありましたので、ありがたくお受けすることにさせていただきます。

私は1966年4月10日に東京で父清水利男と母清水美保子の間に三女として生まれました。父は弁護士、母は主婦であり、また書と詩吟の師範でした。母は東京都世田谷区にある西澄寺というお寺の次女として生まれ育ち、とても信仰深い人でした。毎朝欠かさず炊き立てのご飯を仏壇に供え、チーンと鐘を鳴らして手を合わせていたのを今でも思い出します。母が心を込めて祈る後ろ姿は私の原風景あり、その後の人生を支えてくれた御守りであり、またインドに導いてくれたありがたい道標でもあります。

14歳の頃摂食障害になりました。当時珍しい病気だったのでお医者様も両親も困り果て、私はアメリカに留学することになりました。環境を一変させることで治るのではないだろうかという期待が両親にはあったのだと思います。病気を抱えたままアメリカの学校に転入し、全寮制の女子校を卒業した後は、憧れのニューヨークの大学で造形美術を専攻しました。ヨーロッパのアカデミックな伝統的な流れを全面否定し、独自のアートの流れを自由奔放に作っていくアメリカのアートは日本で生まれ育った私にはとても刺激的でした。しかし、若く人生経験も浅い私にはこれといって真剣に取り組めるテーマもなく、美術作品を作るにあたって取り組んでいけるテーマを見出すことができませんでした。

インドに小旅行で始めて来たのは1990年です。インドでなら、素の自分に会えるような直感があったのです。資本主義、高度経済成長期真っ只中、そのような物質主義的社会にどっぷりついているアメリカと日本を歩き来していた当時の私にとってインドは神秘的で何か人間としての本質的なものがあるに違いないと思えました。

2度目にインドを訪れる機会に恵まれたのは1994年でした。当時コルカタにいらしたカタックダンスのお師匠様ヴィジェイ・シャンカール氏を訪ねてのインド訪問でした。シャンカール氏は日本におけるカタックのパイオニアであられるヤクシニー先生のお師匠様であられ、当時ヤクシニー先生にカタックを学んでいた私は大変親切にいただきました。

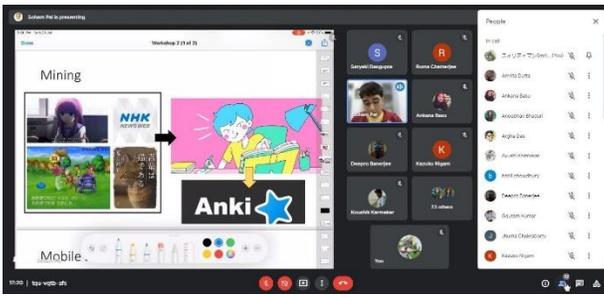
ちょうどその時期に今の夫と出会い、レッスンのお休みの日に夫と2人で真夏の日差しの厳しい最中ローカルバスを乗り継ぎながら初めてドッキネソンのカーリー寺院とバルムートをお参りました。夫とはバラナシでクリアヨーガの師につき6~7ヶ月ほど毎日学びました。翌年の1995年末には夫の国ブラジルへ渡り、その後4人の息子に恵まれました。ブラジルでは子育てとアートの創作活動に追われ、子供の成長と共にアートセラピー、子供のアトリエもはじめ、とても忙しく楽しい毎日でした。4人目の子を授かった後に、14歳の頃から続いていた過食症も完全におさまりました。今から思うと満たされることのないむなしい心の際間を子供たちが満たしてくれたのだと思います。



-アローク・バス

げんごがくしゅう 言語学習におけるデジタルツールの利用に

かん 関するウェビナー



2021年7月25日、NKKS は日本語学習時に様々なデジタルツールをどのように使うかを教えるウェビナーを開催しました。このウェビナーは、ディプロ・バナジさんがホストを務め、ソハム・パールさんが講師をしました。ソハム・パールさんは現在、インド科学研究所（バンガロール）のコンピュータサイエンスの博士コースに在籍し、機械学習モデルのセキュリティを専門に研究しています。今回のウェビナーでは、アンドロイドスマートフォンを使って「ANKI」や「Akebi」、パソコンを使って「Yomichan」など、さまざまなデジタルアプリケーションを使って、どのように単語を「マイニング」し、「Anki」を使って「デジタルフラッシュカード」を作成するかについて、ソハムさんが簡単に説明してくれました。ソハムさんは、上記のツール以外にも、言語学習を進めるための様々な方法を紹介してくれました。ソハムさんはウェビナーで紹介したすべての教材を提供してくれましたので、出席者はそれらを使用することができます。ソハム・パールさんのような博識なスピーカーの話聞くことができる素晴らしい機会を与えてくださったNKKSのメンバーの皆様へ感謝いたします。

- アヌバヴァ・バドゥリ | 和訳：ロビンソン・ゴゴイ

スクエンドウ・ダス

英語教師・St. Ann's Day School, Howrah

皆さん！日本語はあなたを永遠に続く
香り美しさに溢れた最良の神秘的な
世界へ導きあなたをいつも魅惑させる
鍵です。

とうきょう 東京オリンピック 2020

1964年の夏季オリンピックから57年、日本は2020年7月に第32回夏季オリンピックを開催する機会を得て、アジアの国としては史上唯一、2度の夏季オリンピック開催国となった。日本は危機的状況乗り越え2021年7月から8月にかけてオリンピックを見事に開催した。

参加した206か国・地域から送られた選手団のアスリートは計11656人で、12歳から66歳までの幅広い年齢層のアスリートは42競技会場で33競技の339種目が実施された。今回空手、ローラースポーツ、スポーツクライミング、サーフィンが追加種目になり野球・ソフトボールが復帰したことも歴史的な要素だ。歴史と言えばメダルに必要な8トンの金属を回収したことだ。金属の回収法はなんと公共の場所やドコモ販売店に寄付箱を配備して民衆が廃棄した家電と携帯をリサイクルしたものだった。メダル以外にも制服や演壇の生地・素材はリサイクルされたものだった。

第32回オリンピックでインド選手団は過去十数年後の記録を破り最も成功した大会になった。最初にミラバイ・チャヌ選手が重量挙げ女子49キログラム級で銀メダルを獲得した後インド選手は画期的な活躍を見せて次々とメダルを獲得した。最後は23歳のニエラジ・チョプラ選手がやり投げで86.58メートルの記録を打ち立てて優勝した、他の選手は一度も超えられなかった無敵のプレイをこなして、インドが独立してから陸上競技での初金メダルを獲得した。日本の西矢栲選手と堀米雄斗選手が今大会の新設競技スケートボードに初出場して金メダルを獲得、更に栲選手はたった13歳で日本人史上最年少の金を獲得、世界で比べたらマジョリー・ゲシュリング選手の次だ。開催国としては3位で、金メダル27個、銀メダル14個、銅メダル17個、合計58個のメダルを獲得した。アメリカは113個のメダルを獲得して1位、中国は88個のメダルを獲得して2位となった。

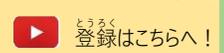
- リトウィカ・ビスワス | 和訳：ハルシト・シャハ



9月・10月プログラム

NKKS YouTube チャンネルに

1. 第23回日本語クイズ：2021年



9月18日 (15:00時から)

YouTube でライブ配信!

2. 年次総会：2021年9月26日



(17:00 時から)

<https://bit.ly/3kuFreh>

クロスワード

- マハシュエタ・バス・ムカージ

1.	2.		3.		4.
5.			6.		
7.		8.			
		9.		10.	
	11.			12.	
13.			14.		

ACROSS

- To work
- Japanese wooden shoes
- Accumulation
- Pavestone
- Sense of beauty
- Oyster
- Ant
- Bridge
- Love

DOWN

- Violent
- Concrete floor
- Painful
- Thick fog
- Snore
- Game
- Debt

つづか 綴り替え - 73

- ソントウ・デブナト



このことわざ
はなんです

1. ずみね (Mouse)

○		
---	--	--

2. ろごのこ (These days;now a days)

○	○		
---	---	--	--

3. きんげんとも (Cash in hand)

○	○					
---	---	--	--	--	--	--

4. りゅうかう (Downstream; lower reaches of a river)

○	○		
---	---	--	--

5. かんしいた (Embassy)

○	○			
---	---	--	--	--

ことわざは？

○	○	○	○	○	○
○	○				

新! クロスワードと綴り替えの答を紙に書いて、その写真を nkksorg@gmail.com に送ってください。
 先着正解者の名前は次号に発表されます！！

7月・8月のクロスワードの答

1. た	2. す		3. あ	4. う	
5. た	ま		6. め	き	7. き
8. か	い	9. か		10. し	き
い		11. い	12. ち	ま	ん
13. ぬ	14. き	と	る		ぞ
15. く	く	る		16. つ	く

つづか 綴り替えの答 - 72

- くちべに
- はんたい
- わざをみがく
- わかいもの
- もとにもどす

Kotowaza: 「くちはわざわいのもと」

Meaning: "the mouth is the source of disaster"

ビデオを見るために QR コードを使用してください！



<https://linktr.ee/videoseries>



<http://surl.li/advwm>

BOOK POST

If undelivered please return to:
 NIHONGO KAIWA KYOOKAI SOCIETY
 2B, SHIVANGAN 53/1/2, HAZRA ROAD
 KOLKATA - 700 019